児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

別添資料5

公表：令和6年　3月　13 日　　事業所名：放課後等デイサービスはあとくみ

		チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善点を踏まえた改善内容や目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11			・法令に従ったスペースを確保しています。また、別館(V2)も使用しています。	
	2	職員の配置数は適切である	11			・法令に従った配置数にプラス増員しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11			・玄関やトイレの段差が無く、手すりも設置しており室内バリアフリーとなっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11			・毎日、施設の清掃や除菌に取り組んでいます。また、活動内容に応じて使い方を変えられる、広い空間になっています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	10	1			・全職員が参画出来るよう、改善していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	1		・保護者の貴重な意見を真摯に受け止めて、業務改善に繋げています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1		・保護者にはお知らせ(評価表の結果等)を配布し、ホームページで公開しています。職員にも配布して、共有しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	10			・ミーティングや振り返りで、業務改善につなげており、まだ第三者による外部評価を受ける段階ではないと判断しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11			・感染症対策、虐待防止・権利擁護、防災・防火対策等の研修を実施しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11			・アセスメントについては、児童発達管理責任者の役割で保護者への聞き取りを行い、支援内容を分析し、適切に作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11				・年齢に応じた内容に改善していきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11				・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の支援内容に沿った設定にしていますが、項目漏れが無いか確認して行きます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11			・児童発達支援計画に沿った支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	11			・児童の成長に合わせて変更しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11			・事業所独自の言葉・運動等の内容をチームで行っています。児童の反応や取り組みの改善をしながら、楽しんでもらえるよう、工夫しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11			・個別での勉強や本読み、集団遊び等を様々に組み合わせています。	

		チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善点を踏まえた改善内容や目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11			・朝のミーティング時に打ち合わせをしています。勤務していない職員には連絡ノートや役割分担の連絡をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11			・支援終了後の打ち合わせは、途中で帰宅した職員や勤務していない職員の為、職員連絡ノートに記入しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11			・業務日誌には、その日の様子を記録しています。いつもと違う様子があった場合や保護者から連絡があった場合は翌日の朝のミーティングで検証しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11			・半年毎に見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11			・児童発達支援管理責任者が行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11			・児童発達支援管理責任者が適切に対応しています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					・現在、医療的ケアが必要な児童はいませんが、将来的必要になる場合を想定して準備していきます。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					・現在、医療的ケアが必要な児童はいませんが、将来的必要になる場合を想定して準備していきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11			・保育所や支援学校に訪問したり、デイサービスでの児童の様子を見学等に来て頂いたり共有と相互理解を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11			・小学校や支援学校からデイサービスでの児童の様子を見学等に来て頂いたり、訪問し小学校での支援内容の共有と相互理解を図っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	2		・今年度も、外部の実習研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	11			・地域の公園で交流する機会があります。 ・外出イベントで、科学館、キッズプラザ、水道記念館などの体験型の施設にも行っています。	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6		※ 児童発達支援管理責任者・管理者・5年以上の経験者のみ回答	・参加出来るよう、時間的調整をして改善していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11			・その日の活動記録や連絡ノート等を使って、保護者と共通理解をしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	11				・一部の方にしか行えていない事を改善していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11			・契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11			・児童発達支援管理責任者が6か月ごとに見直して、面談を行い同意を得ています。	

		チェック項目	はい	いいえ	分からない	工夫している点	課題や改善点を踏まえた改善内容や目標
保護者への説明責任等	34	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11			・送迎時及び連絡帳や電話等で必要な助言と支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	10			・保護者同士の連携か保護者会再開かを検討しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11				・職員間で周知が徹底出来ていない時があるので、改善していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11			・はあとくみ通信を年に2回発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11				・配布物の入れ間違いやLINEの送信ミスがないように、引き続き注意していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11			・連絡帳やLINE、送迎時に児童の様子やお知らせをお伝えしています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	10			・知らない人に対して児童に配慮が必要な為、招待等は難しく、出来るように改善していくのが課題となっています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11			・保護者の皆様にマニュアルを配布して、周知していただいています。 ・はあとくみ通信に訓練の報告をしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11			・はあとくみ通信に訓練の報告をしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11				・契約時に保護者を通してお聞きしています。児童の成長に合わせて、再確認していくよう改善していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1			・医師の指示書は頂いていませんが、保護者からお聞きしています。
	45	ヒヤリハットを作成して事業所内で共有している	11				・ヒヤリハット事例集はありませんが、ヒヤリハットの記入はしており、ファイリングされています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11			・虐待防止・権利擁護の研修をしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し、三要件を児童発達支援計画に記載している	9	2		・当事業所において今現在、身体拘束が必要な児童がいない為、個別支援計画書の見直し時に身体拘束三要件の説明を行っています。	

●この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。